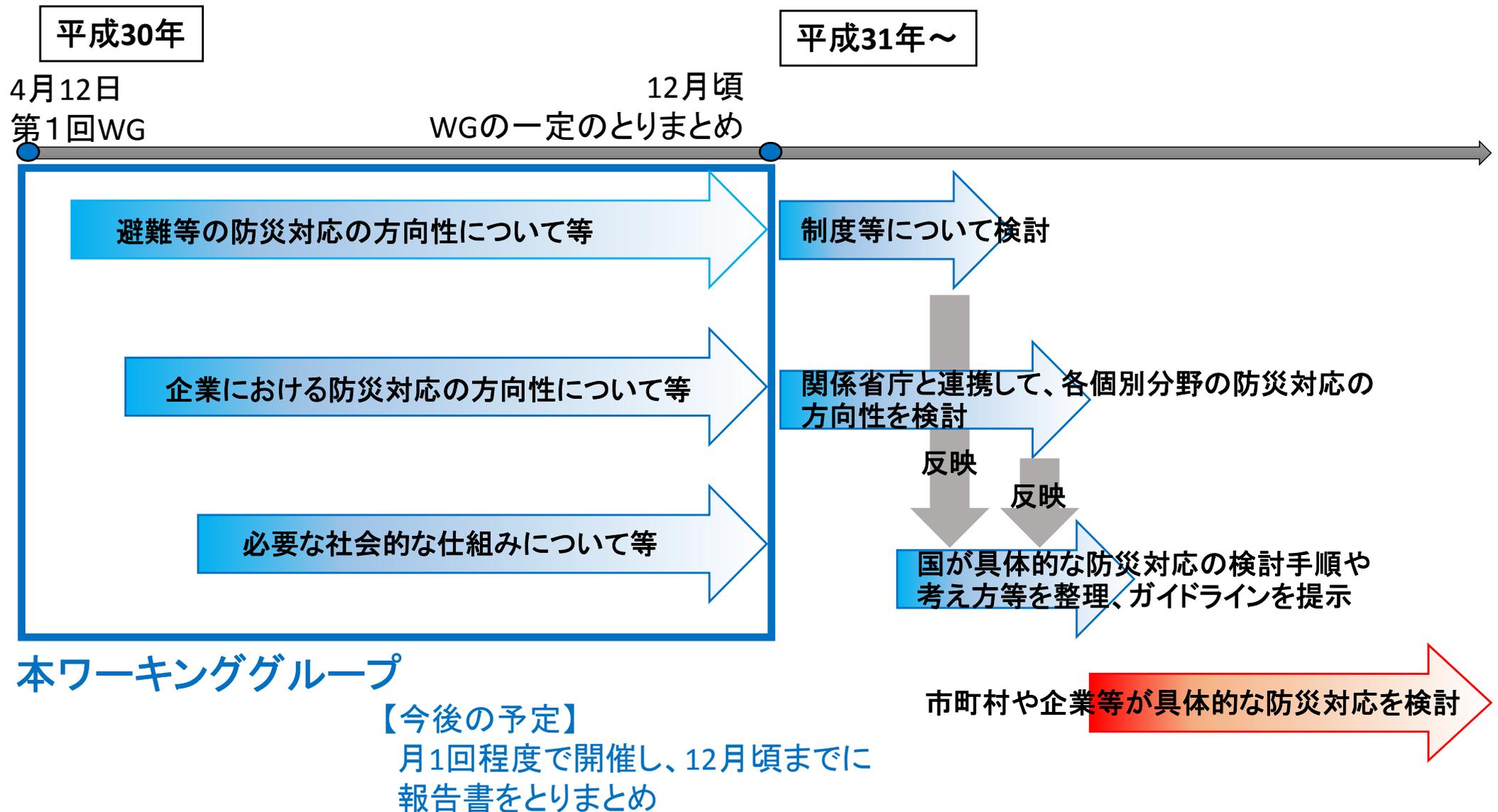


ワーキンググループとりまとめと
政府における検討事項について

今後の進め方について(案)

- 本WGでは、住民や企業がケースごとにとるべき防災対応の基本的な方向性と、必要な社会的な仕組み等について議論
- WGのとりまとめを踏まえ、制度や各個別分野の防災対応の方向性の検討等を実施



本WGにおけるとりまとめ(イメージ)

- 本WG設置までの経緯
- モデル地区における検討
- 南海トラフ沿いで観測される異常な現象として想定するケース
 - －各ケースの概要、各ケースで想定する現象の評価基準
 - －各ケースで想定される社会状況 等
- 各ケースにおける防災対応の方向性
 - －防災対応の基本的な考え方
 - －ケースごとの住民や企業における防災対応の方向性 等

- 防災対応を実行するに当たっての社会的仕組み
 - －防災対応の計画づくり
 - －異常な現象が観測された際の情報の伝え方
 - －防災対応の一斉開始の仕組み
 - －防災対応の終了の仕組み 等

- 住民や企業の防災対応を検討・実施するに当たって、配慮すべき事項
 - －突発地震対策の促進
 - －社会的混乱の抑制
 - －避難先の確保と運営等
 - －防災訓練の実施
 - －住民や企業における防災対応の検討を促すためのガイドライン(仮称)
 - －個別分野における防災対応の検討に当たって配慮すべき事項 等

政府における検討事項

制度等(社会的な仕組み)

防災対応を実行性のあるものにするために、国が検討すべきもの

ガイドライン(仮称)

住民、企業等が、取るべき防災対応について、地方公共団体や企業等が具体的に検討し、それを実施できるように、必要となる検討手順、留意点、検討に参考となるデータ等を国がまとめたもの

個別分野の防災対応の方向性
(関係省庁と連携して検討)